

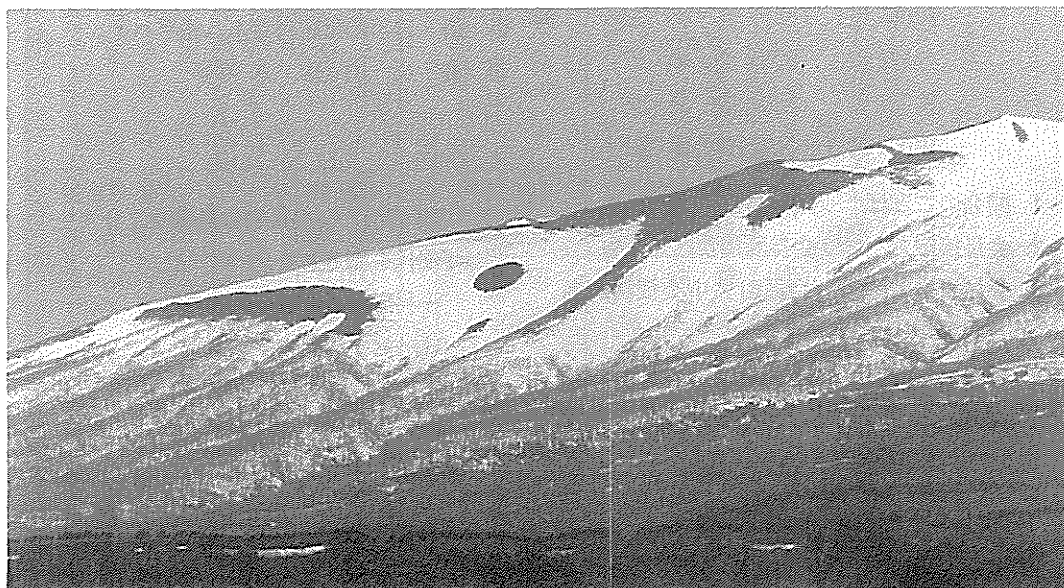
岩手郡医報

平成4年7月 No.37

編集 発行

岩手郡医師会

題字 雫石町高橋孝先生



春が来て、農作業が始まる頃、雫石町から見た駒ヶ岳に姿を現した馬、古老曰く「馬ノ尻^{ケツ}ア秋田サ向イデ、ウンコア秋田サタレルガラ秋田米所ダ」と

(雫石町 高橋 孝)

目次

駒ヶ岳の「馬のかたち」……………1	おらほの先生
岩手郡医師会通常総会……………2	「西根町 森整形外科医院の巻」……………13
平成3年度一般会計決算書……………2～3	リハビリテーション医学会学術集会印象記
平成3年度休祭日当番医決算書……………4	及 川 忠 人……………14
平成3年度特別会計決算書……………5	随想「今更」 雫石町 高橋 孝……………15
学術講演「現代を測る」	新入退会会員紹介……………16
岩手医大 石 渡 隆 司 先生……………6～7	郡医師会役員会……………16
部会報告……………7～12	編集後記……………16
岩手郡医師会平成4年度活動計画……………8	

岩手郡医師会通常総会

日 時：平成4年6月20日（土）pm 3：00

場 所：岩手郡松尾村寄木八幡平ハイッ

司 会：及 川 忠 人 理事

次 第

1. 開会のことば 副会長上田靖彦先生
2. 会長挨拶 会長高橋牧之介先生
3. 会員資格確認 会員61名中委任状30名
出席16名
4. 議事
 - ①平成3年度岩手郡医師会一般会計決算書の承認について
 - ②岩手郡医師会休祭日当番医会計決算書の承認について
 - ③岩手郡医師会特別会計決算書の承認について
(説明 副会長高橋孝先生)
 - ④監査報告 佐々木久夫監事
 - ⑤その他
5. 学術講演 座長会長高橋牧之介先生
『現代を測る』
—科学と人間性の調和をめざして—
岩手医科大学教養部
哲学教授 石渡 隆司 先生
6. 各部担当よりの報告
 - ①県医理事会 ②総務部 ③学校医部会
 - ④福祉部会 ⑤保険部会 ⑥産業医部会
 - ⑦労災部会 ⑧健康教育委員会 ⑨勤務医部会
 - ⑩広報部 ⑪生涯教育委員会
 - ⑫地域医療 ⑬医師連盟 ⑭審査委員会
 - ⑮その他
7. 閉会のことば 副会長上田靖彦先生
8. 懇親会

平成3年度・一般会計決算書

自 平成3年4月1日

至 平成4年3月31日

社団法人 岩手郡医師会

単位：円

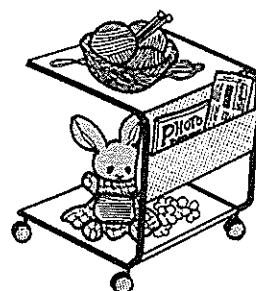
《1》収 入 の 部

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
	円	円	
繰 越 金	1,210,000	2,210,302	前年度より繰越
会 費	4,085,000	4,442,000	A 会員 95,000×39人=3,705,000円 B 会員 1 期分12,000×23人=276,000円 2 期分12,000×21人=252,000円 3 期分11,000×19人=209,000円
補 助 金	85,000	508,000	県民健康講座 425,000円 地 域 医 療 28,000円 学 校 医 55,000円
雑 収 入	150,000	181,117	預 金 利 息
合 計	5,530,000	7,341,419	

《2》支出の部

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
	円	円	
〔事業費〕	〔4,870,000〕	〔3,021,138〕	
会議費	2,000,000	1,508,209	総 会 (2回) 710,548円 理 事 会 (6回) 610,531円 役 員 会 (3回) 142,130円 県医総会費 (9名分) 45,000円
生涯教育費	550,000	187,153	医学講演会 187,153円
地域保健	400,000	158,400	県民健康講座 158,400円
広報発行費	600,000	309,855	印 刷 費 (4回) 278,512円 発 送 費 (4回) 28,459円 雑 費 2,884円
旅 費	320,000	350,000	
交 際 費	650,000	230,610	
慶弔見舞金	100,000	31,115	
広 告 費	100,000	109,140	
雑 費	100,000	86,656	
予 備 費	50,000	50,000	
〔事務費〕	〔660,000〕	〔440,643〕	
事務費	660,000	440,643	通 信 費 59,806円 消 耗 品 費 64,087円 印 刷 費 87,550円 リ ー ス 料 109,200円 事務処理費 120,000円
合 計	5,530,000	3,461,781	
次期繰越金		3,879,638	収入金額7,341,419円－支出金額3,461,781円



平成3年度・休祭日当番医決算書

自 平成3年4月1日

至 平成4月3月31日

社団法人 岩手郡医師会

《1》収入の部

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
	円	円	
繰 越 金	638,000	3,776,265	前年度より繰越
補 助 金	3,504,000	3,636,000	8ヶ町村より
雑 収 入	8,000	0	
合 計	4,150,000	7,412,265	

《2》支出の部

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 書	摘 要
	円	円	
報 償 費	3,210,000	2,392,526	健康教育費 1,260,000円 県医野球大会 378,066円 県医ゴルフ大会 45,721円 県医スキー大会 190,530円 学校保健会 331,056円 合同研修費 187,153円
需 要 費	350,000	162,705	会議費 158,485円 通信消耗品費 4,220円
旅 費	350,000	20,000	
役 務 費	90,000	0	
予 備 費	150,000	0	
合 計	4,150,000	2,575,231	
次期繰越金		4,837,034	収入金額7,412,265円－支出金額2,575,231円

平成3年度・特別会計決算書

自 平成3年4月1日

至 平成4年3月31日

社団法人 岩手郡医師会

単位：円

収入の部	金額	摘要
	円	
繰越金	4,742,611	前年度より繰越
岩手県医師会	335,814	乳児等医療費助成交付金
	252,182	乳児等医療費給付事業事務交付金
県予防医学協会	145,000	検診立会医依頼事務手数料
県医師信用組合	197,000	第21期事務委託費
県医師国保組合	58,500	平成3年度支部交付金
雑収入	176,079	預金利息
	2,000	優生保護法指定医更新審査手数料
合計	5,909,186	

単位：円

支出の部	金額	摘要
	円	
岩手県医師会	2,000,000	県医師会野球大会費用補填金
岩手医学会	248,000	平成3年度会費 @4,000×62人
東北銀行	721	振込手数料（岩手医学会へ）
合計	2,248,721	
次期繰越金	3,660,465	収入5,909,186円－支出2,248,721円

○監査報告書

平成3年度岩手郡医師会一般会計決算書、休祭日当番医決算書、特別会計決算書のそれぞれについて、慎重に監査いたしましたところ、その収支は適正妥当なるものと認めます。

平成4年6月13日

岩手郡医師会長

高橋 牧之介 殿

監事

和田 栄 吉

佐々木 久 夫

高橋 克 郎

○ 学術講演

「現代を測る——科学と人間性の調和をめざして」



石 渡 隆 司 先生

岩手医大教養部哲学教授

石 渡 隆 司 先生

本日の講師の石渡先生は、公私とも御多忙であり、講演会終了後盛岡劇場で午後6時30分より開催される「如月小春作・演出NOISE公演」に出席予定があるため講演会を早めに行った。主題に入る前にこの如月小春さんとおつき合いと本日会場の八幡平温泉郷のある東八幡平についての思い出を語ってくれた。そのあと本論へと進出した。

〔講演要旨〕

全米でベストセラーになったばかりでなくわが国の読書界でも大きな注目を浴びている書物に「歴史の終わり」がある。著者のフランス・フクヤマ氏は日系の三世で現在はアメリカ外務省の研究所に勤務する若手の国際問題研究者である。フクヤマ氏はこの本で、ドイツの哲学者ヘーゲルの歴史観を根底に据えながら現代という時代の歴史的な意味を考えようとしている。ヘーゲルの歴史哲学の基本原理は、歴史を一定の理念によって導かれる進歩の過程とみる点にある。またフクヤマ氏によると、ヘーゲルは歴史を動かす原動力を「理性」や「欲望」のうちにはなく、自己の自由や価値に対する認知を求めて闘う「気概」にあると考えていた。この「気概」は、自分たちの属する社会にある未解決の問題と対決することによって引き出されるが、現在の社会は人類の歴史が目指してきた自由で民主的な社会をすでに実現して、この先にさらに高度な社会体制を考えることは難しい。したがって世界はすでに「歴史の最終目標」に到達しているのではないかと、そしてこの後にくる人間はもはや理念によって動かされることなく、過度の優越願望や対等願望をもつ人間、ニーチェの言う「野獣的人間」ではな

いかというひとつの歴史的解釈を提示する。フクヤマ氏は以上のような歴史観をふまえてソ連東欧の社会主義の崩壊を始め、世界の各地に生じている政治的な出来事の意味を分析し、世界の中で今後も活躍する国や民族はどこかという問いを提出し、条件付きながらアジアや日本にその可能性を見ている。そこには個人主義とは違った、よい意味でも悪い意味でも独自の集団主義が生き続けているからであるという。フクヤマ氏の意図は歴史の終末を説くことではなく、世界史的な転換点にある人類のこれからの歴史の可能性を考えることであつたと思われる。

「歴史の終わり」に続いて経済学者のドラッカー氏が「資本主義の終わり」という本を近く出版すると伝えられている。またイタリアでは「近代精神の終わり」という本がベストセラーになっている。さらにアメリカでは「医療の終わり」という本も出版されている。

こうした一連の現象は現代という時代が歴史的に大きな転換点に立っていることを物語っている。

現代の歴史的な位置をかんがえるためには、社会的体制についての考察と並んで科学技術の歴史的発展を概観してみる必要がある。

人類の技術的發展の歴史を三段階に分けてみると

- ① 人間の自然への適応能力を強化する技術。
- ② 自然法則を利用して、自然から積極的に富を引き出すための技術。
- ③ 人間の夢や個人の幸福や生存の願望を充たすための技術。

の三段階に分けることができる。

上記の①は自然を巨大な魂と見て人間はそこに精神の故郷を見る立場。②は自然を無限な富の宝庫と見た。この思想は近代資本主義の原理と結び付いて、大量生産、大量消費社会を生み、地球環境破壊に対する対応という新たな課題を残した。③の段階には、宇宙技術、情報技術、生命技術のようなものがある。これらの技術は自然の有限性と科学技術の二面性を人間の前に明らかにした。宇宙技術は地球が人類の掛替えのない共有の大地であることを視覚によって明らかにし、情報科学は

個人の知る権利とプライバシー保護との間にある権利の葛藤をあらわにした。生命科学は生殖医学や生命維持技術によって、個人の生存の願望と社会的倫理との対立局面を浮き彫りにしている。

いまや科学技術の第四の段階を創り出さなければならない時期である。この段階の科学技術は理知や欲望を充たすためのものではなく、人間の深層の要求に応えるものでなければならない。科学がその役割を問い直し、人間の能力限界の自覚や自制の必要を喚起する知恵、自然科学と人文学との結合、古典（人間の心の深層と調和した思想、作品、時代）と近代的開発精神との組合せ、個人の自由と共同体の秩序との調和、人類の共棲と民族的アイデンティティの両立などの課題を抱える。これらの課題に向かうためにわれわれは単なるスローガンに共鳴するのではなく、眼の前の課題のひとつひとつを自分の深層の要求に照らして選択することが求められている。

部 会 報 告

◆県医師会理事会報告

西 島 康 之 県医理事

○平成4年第1回理事会

日時 平成4年4月4日（土）

場所 岩手県医師会館中会議室

石川育成県医師会長が医療を取り巻く環境は極めて厳しいものがあるが、山積している難問に取り組む決意をのべられ、続いて各理事の役務分担を決定した。

○平成4年第2回理事会

日時 平成4年6月16日（火）

場所 岩手県医師会館中会議室

石川会長の挨拶ではじまり、会長の挨拶

の中で、県医師会が毎年行っているテレビ、ラジオ放送は脳死、在宅ケア等も加え県民に開かれたものにしたい。又、ゆとりある医療の再就職としてドクターバンク又、診療所の抱えている問題にも真剣に取り組んで行く決意をのべられた。引き続き担当部門別事業の状況について担当理事から報告があった。次に議事に入り

- 1 第44回岩手県医師会総会並びに第88回岩手医学会春季総会について
- 2 第46回東北医師会連合会総会並びに学術大会について
- 3 平成3年度県医師会一般会計歳入歳出

決算について

以上が主な協議事項であった。

◆総務部

及川忠人 理事

今年度より総務部が新設され、岩手県医師会の運営を円滑かつ活発化させたいと願っております。すでに本年度になり、何度か役員会を開催しておりますが、本年度の今後の大きな行事としては、7月12日の県医師会総会、8月23日の県医師会親睦野球大会（二戸市にて開催）、9月19日（盛岡市）の東北医師会連合会があります。各会員の積極的な参加を期待しております。

総務部は県医師会内部の行事、各地域での諸問題等はもちろん、渉外、他都市医師会関係など多くの関係事項があることですが、諸先生方のご指導とご協力を得て進めて参りたいと存じますので宜しくお願いいたします。

岩手県医師会平成4年度活動計画

平成4年3月18日（水）定例役員会

4月25日（土）定例役員会

6月2日（火）定例役員会

6月20日（土）通常総会（於八幡平ハイツ）

7月12日（日）岩手県医師会春期総会（於県医師会館）

7月7日（火）定例役員会

7月下旬 登山（レクレーション）於岩手山麓

8月21-23日 東北地区大会へ協力（各町村）

8月23日（日）岩手県医師会親睦野球大会（二戸市）

8月下旬 定例役員会

9月19日（土）東北医師会連合会

（於盛岡市）

9月下旬 定例役員会

10月初旬 県医師会いものこ会

10月下旬 定例役員会

11月22日（日）岩手県医師会秋期総会（於県医師会館）

11月下旬 定例役員会

12月 忘年会

平成5年1月中旬 定例役員会・新年会

1月中旬-2月上旬 県民健康講座

（於松尾村）

1月下旬 岩手県医師会総会

2月下旬 定例役員会

3月中旬 定例役員会

◆学校医部会

上原充郎 理事

第1回学校医部会幹事会が平成4年5月30日（土）午後3時より県医師会館3階で開催されました。

石川県医師会長の御挨拶のあと、部会長佐藤進先生、副会長橋本種仁先生、荒木田定世先生、吉田新二先生に決定致しました。

報 告

①平成3年度岩手県医師会学校医部会の活動状況が報告されました。全て「いわて医報」に掲載されているものです。

②小児成人病が重視されている昨今、県医師会に小児成人病予防対策委員会が結成され更に小児成人病ガイドブックが作成され、すでに全会員に配布されています。先生方の小児成人病検診の時御活用下さい。

協 議

①平成4年度の事業計画が次の通り決定致しました。

1) 第10回岩手県学校保健、学校医大会の

開催

- 2) 各種検診活動の推進
 - 3) 学校保健関係団体との連携
 - 4) 小児成人病予防対策の展開
 - 5) 児童生徒の今日的問題の検討
- 特に精神衛生、思春期、スポーツ等

②行事予定

- 1) 第10回岩手県学校保健、学校医大会が
平成5年1月17日に行われます。
- 2) 第4回東北学校保健、学校医大会が、
8月9日秋田市で行われ、岩手県より
三題の演題が出ています。

『盛岡市内小中学校に於けるアレルギー疾患調査』

盛岡市医師会学校医部会

根 本 紀 夫 ○山 口 淑 子
荒木田 定 世 吉 田 新 二

『雫石中学校における学童成人病予防検診』

岩手郡医師会学校保健担当理事

上 原 充 郎

『頭痛を訴えた学童の眼科的所見－特に屈折異常との関連について－』

岩手県立久慈病院眼科

志 和 和 彦

- 3) 第23回全国学校保健、学校医大会が山
梨県で11月7日に行われます。

③学校職員の健康診断について

日医の考え方としては、出来るだけ校医が職員の健康診断を行う様に、特に検査データの指導は行ってほしい。そして4年前より学校職員の健康診断に対する報酬が(3万～4万円)地方交付税の中に入っているそうですので、町村単位に教育委員会に打診してみても下さいとのことです。

④入学前の就学予定児童の検診について

入学前の児童はまだ入学していないのだから 校医が検診をする場合、その報酬は校医報酬とは別に考えられる。この点も町村単位に教育委員会に打診してみても下さいとのことです。

◆郡市医師会福祉担当者連絡協議会

福祉担当 坂 井 博 毅 理事

平成4年度の、第1回郡市医師会福祉担当者連絡協議会が、5月30日(土)午後4時から県医師会館、第2会議室で行われました。以下その概略を報告致します。

冒頭、石川県医師会長の挨拶があり、今日の厳しい医療並びに経済環境の中での、会員並びにその家族に対する、医師会の福祉活動は、極めて重要な活動であると述べられた。とりわけ現在、岩手県医師会が行っている、日医年金、各種保険への積極的加入、並びに一日人間ドックへの参加などは、会員諸先生方の将来の生活設計に極めて重要であり、その啓蒙活動として各種パンフレットを発送していますが、殆ど大部分の先生方は、パンフレットには全く目を通さず、右から左に屑箆に捨てる習慣があるようだ。この癖をぜひ止めるように指導徹底していただきたい、との耳の痛いお話がありました。これまでは、真面目に医者をやっていると、経済問題や将来の生活設計など、全く考える必要性はなかったくらい恵まれた環境にありましたが、この数年来、我々医師の置かれた環境は極めて厳しく、看護婦その他の人材確保とその保証、安定した病医院経営のための、計画的マネジメント医療技術以外の手腕が問われる時代に突入した。こうした時代的背景に鑑み、県医師会では新しく、医師のための癌保険を発

売する計画をもっていることなど話されました。次いで報告に入り、小野寺俊夫岩手県医師会常任理事から、平成三年度の活動状況、平成4年度の事業計画と予算についての報告があり更に、日本医師会従業員（主に令婦人）国民年金基金の加入への報告がありました。この基金は昨年度から発足した職員のための、厚生年金基金と違い、あくまで医師国保に加入している先生、とその家族のためのもので、掛金金額が経費として認められる点が強調されました。ただ注意点として、この年金には地域型と職能型の二種類がありますが、職能型に（医師という高等技術者の為の基金）加入されるほうが、お得ですとのことでした。また一人法人の方でも医師国保に加入している先生は、利用出来るとのことでした。次いで例年のごとく、日医年金－各種保険加入状況について、説明があり若い先生方の、積極的加入を呼び掛けて下さいとのことでした。次いで協議に入り、人材確保としての看護婦問題が話し合われました。

さきに発表されました厚生省の今後十年間の看護職員需要に関する報告は極めてずさんで見通しが甘いこと。特に、国、公立の看護婦養成機関が、民間に比べて人材育成に不熱心である。これは医師会付属の看護学校や民間の看護学校で、心血を注いで養成した生徒を高級でスカウトして行くことが原因で極めて遺憾である。とのことでした。以上。

◆保険部会

高 橋 孝 副会長

今迄はベテランの高橋会長が担当しておりましたが、今度私が担当することになりました。先刻行われました郡医師会通常総会でもお話し申し上げましたが、未だ県医師会の会

議ももたれておりませんので、特別の報告事項もありませんが、皆様先生方が適正な保険診療を行うための、何かお手伝いが出来ればそれが私の役目と理解しております。いずれ保険問題のベテランであります会長がおりますので御指導を仰ぎながら任務を遂行して参りたいと思っておりますので宜敷くお願い致します。

今年度は県保険指導官の白倉義則先生をお招きして、集団指導を企画開催致しますが、会長も申しておりましたが、集団指導で先生たちが如何に勉強して帰っても、そのことが事務員の方々に伝達されないようで、事務上の不備なことも多くあり、今度の集団指導時には事務員にも多数参加していただいき指導を受ける事に致します。後程、日時が決まり次第通知申し上げますので、郡内全医療機関の先生は元より事務員の方々も必ず御参加下さいますようお願い致します。

◆産業医部会

八 角 正 司 理事

日本医師会認定産業医制度は、平成2年度より発足し現在、全国で約3万名、岩手県では310名の医師が認定産業医として登録されています。

申請の移行措置期間は平成5年3月31日で終了いたします。

移行措置とは現在既に産業医として十分な知識と経験を積んでいると認められる医師を新認定制度へ円滑に移行させるために行っているものです。

主な対象者は次の通りです。

- ①平成元年度以前に日本医師会長から旧認定書を交付された医師
- ②日本医師会の産業保健活動モデル事業で

行った研修会を終了した医師

③申請時に産業医であって3年以上の産業医活動歴を有する医師

④申請時に産業医であって3年未満の産業医活動歴を有する医師

産業医経験3年以上の先生は都道府県医師会などの基礎研究会に出席、前期研修14単位以上産業医経験3年未満の先生は、前期研修14単位以上実施研修10単位、合計24単位が必要になります。研修の未終了の先生は平成4年度中に研修を終了して申請されるようお願いいたします。

今年度研修会のスケジュール

10月17日(土) 産業医(実施・生涯)研修会 [基礎、更新]

10月24日(土) 産業医(前期)研修会 [基礎]

11月14日(土) 産業医(実施・生涯)研修会 [基礎、更新]

11月28日(土) 産業医(後期・生涯)研修会 [基礎、更新]

1月16日(土) 産業医(前期)研修会 [基礎]

場所。時間は未定です。

不明の点がありましたら私あて、あるいは県医師会の産業医を担当している職員にお問い合わせ下さい。

なお、この日程でも単位の不足する先生は来年1月福島県で東北ブロックの研修会がおこなわれます。前期10単位、実施4単位を取得することが可能です。

◆労災部会

篠村達雅 理事

平成4年6月1日、岩手労働基準局労災医療監督官より各労災指定医療機関に「労災診

療費算定基準の改正について(情報)」という事務連絡がありました。主な改正点は、初診料、2810円→3000円。再診時療養指導管理料、770円→850円。指に係る創傷処置(手術)点数の変更。特定治療材料を四肢にも適用。入院室料加算、文書料の増額。などであります。不明な点があった時は、岩手労働基準局労災補償課医療係、または労災保険情報センター岩手事務所にお問い合わせ下さい。(6月17日付けにて正式の通知が各労災指定医療機関にあったと思います。)

労災部会については、年1~2回開催されているのですが、今年度の日程は未定とのことでした。

◆健康教育委員会

岡本彰 理事

本年度の県民健康講座は、松尾村で開催される予定です。

平成4年度、第一回健康教育委員会は、平成4年6月13日(土)午後3時より、県医師会館3階、視聴覚室にて開かれました。筆者私用にて出席できず、上原充郎先生に御出席をお願いいたしました。県医師会副会長として高橋牧之介先生も御出席なされました。まず委員会では委員長に佐藤進先生、副委員長に鷹背研一先生が選出され、その後次の項目が検討されました。

- 1、本年度の共通テーマは「くらしと健康」と決定。
- 2、カリキュラムは、9月中旬に決定報告の事。
- 3、県医師会からの送金は昨年同様との事。
- 4、県医師会が放送している「健康で長生きするために」の成人病予防シリーズで使用したフリップ(図表)をスライ

ドにしているので利用して欲しい。

5、その他

◆地域医療部

及 川 忠 人 理事

本年度より地域医療部が総務部とともに新設されました。我が岩手郡医師会は5町3村にわたる広大な地域を擁しておりますが、医師会の問題の多くは地域医療と関連しないものはないといって良いと思います。

まず検討を要することは各地域での医療体制のネットワーク構築の問題があります、また各地域での学校検診や学童の健康管理の問題、救急医療体制および緊急災害時の対策要項の見直しが必要な時期にあります。また岩手県のなかでもさらに高齢化が進行している中で、各地域での在宅医療、在宅ケア、地域リハビリテーション活動をも含めてシステムの検討が必要でありましょう。

これからの諸問題を盛岡地域医療圏のなかで我が医師会の役割を整理して、わかりやすい協力体制の整備をして参りたいと考えておりますので宜しくご協力をお願い致します。

◆広報部

嶋 信 理事

去る3月5日(木)午後4時30分より県医師会館中会議室において「平成3年度いわて医報編集委員、郡市医師会広報委員連絡協議会」が開催されました。

この模様は「いわて医報」N°491、4月号に詳細に出ていますが、この中で

- 1) いわて医報の充実
- 2) 郡市医師会広報委員との連携強化
- 3) 県医師会広報活動

①対外広報活動について

岩手県関係部局との打ち合わせ会

県政記者クラブとの懇談会

三師会懇談会

地方紙への意見広告(平成4年2月23日付岩手日報紙上へ)

部会活動……テレビ、ラジオ放送など

その他

②対内広報活動について

いわて医報発行など

4) 日本医師会広報活動について

5) その他

などが話し合われた。

また「岩手郡医報」については、仲々月1回の発行はむずかしく、2〜3ヶ月に1回程度の発行となっているのが現状ですが、これからも原稿依頼を積極的に進めできるだけ多くの発行を心がけたいと思います。皆さんの御協力を切に御願い申し上げます。

◆生涯教育委員会

上 田 靖 彦 副会長

平成4年5月1日(金)に上記委員会が開催されました。生涯教育の申告については、従来は生涯教育申告書により毎月提出いただいておりましたが、今年度からこの書による提出は廃止することになりました。

今年度からは日本医師会雑誌(3月1日号107巻第5号)に添付されている「生涯教育学習時間記録メモ」をご活用いただき、1年分を「平成4年度生涯教育申告書」に記入されて平成5年5月中頃までに所属郡下医師会にご提出いただくことになりました。

今後とも生涯教育活動にご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

おらほの先生

西根町 森整形外科医院の巻

院長プロフィール

S23、12、3生

西根町大更生まれ

血液型大?型

院長は、花の好きなどとても笑顔のステキな先生です。患者さんにはとてもやさしく接して、とくにお年寄りの方から「先生!先生!」と慕われています。しかしわがままな患者さんには、時折厳しく喝を入れ、子供達には、「おじさんはネ」などとやさしい言葉をかけて、思わず私達まで「おじさん!」と暖かい雰囲気を感じることがあります。

そして、診察室には、院長自ら咲かせたカトレヤ、シンビジウム等の美しい花々が常に飾られ、働く私達や患者さんの心を和ませてくれます。そして、時には患者さんと、花の話にはなが咲くこともあります。

今年は私達を海外旅行に連れて行ってきて、自慢のカメラで、珍道中をバッチリフォーカスして下さいました。

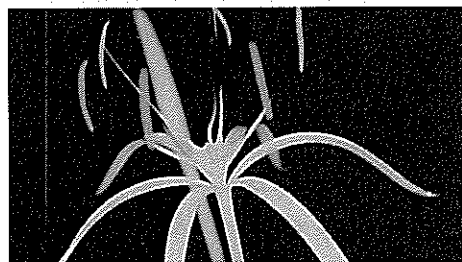
忙しい毎日ですが、健康には十分気をつけて、当院の発展のため頑張っているものです。20数名のスタッフもやる気十分です。

追伸

院長は〇〇kgもあった体重を、一年弱で20kgも減量したほどの根気の持主です。ダイエット指導にも、相談に応じるかもしれませんよ。



Cirr. Elizabeth Ann "Buckleberry"



Hymenocallis



リハビリテーション医学会学術集会印象記

東八幡平病院 及 川 忠 人

日常臨床に追いまわられる中で、神戸で去る5月28日より3日間開催された第29回日本リハビリテーション医学会学術集会に参加する機会を得ましたので、その概略と感想を述べたいと思う。

我が病院が設立されて今年が15年目にあたるが、小生が当院に赴任してから早くも11年目を迎え、これまでのリハビリテーション医学・医療についての自分なりの考え方を振り返る必要があると考えていたが、その良い反省のチャンスとなったように思う。

今回の学会は兵庫県立総合リハビリテーションセンター中央病院長の沢村誠志先生が会長で、主題は「リハビリテーション医学の地域への進展を求めて」であった。演題数520題を越えて立派な学会であったが、30余年に亘る沢村先生の体験からにじみでた主題が採用され、昨年12月に県医師会館で開催された当財団主催のリハビリテーション教育講演会の素晴らしい講演を思い出さざるを得なかった。とくに地域リハビリテーション活動について今回は、現状報告会を設定されて、全国の地域リハビリテーション活動の紹介がメイン会場でなされた。当院からもこれまでの近隣町村に対する地域リハ活動が継続されて約10年になることもあり、これからの活動の推移と課題をまとめてポスター発表することが出来た。

約3年前から日本リハビリテーション病院協会が創立されて、その中に地域リハビリテーション対策委員会がつくられそのメンバーの一人として小生も参加しているが、この委員会では、地域リハビリテーションの定義を明らかにしている。すなわち「地域リハビリテーションとは、障害をもつ人々や老人が住み慣れたところで、そこにすむ人々とともに一生安全にいきいきとした生活がおくれるよう、医療や保健、福祉および生活に係わるあらゆる人々がリハビリテーションの立場から行う活動のすべてをいう。」と定義されている。

このような定義から地域リハビリテーション活動そのものの広がりや理解いただけるものと思うが、我々の地域での現状はまだまだきびしいものがある事も事実である

そもそもリハビリテーション医学は第3あるいは第4の医学として位置づけられ、健康増進医学、予防医学、診断と治療の医学、リハビリテーション医学そしてターミナルケアやホスピス等で話題となる死の臨床学をふくめた包括医療の一端を担っていることは誰もが知っていることである。しかしリハビリテーション医学・医療は脳卒中の患者さんのみでなく各科の臨床医学・医療と密接な関連をもつことに目を向ける必要があると思われる。一般臨床学から宇宙医学まで深く係わりがある事は、さきにTBSから派遣され10日間の宇宙飛行を体験した秋山康寛特派員の体験すなわち無重力状態のなかから地上での生活に移行する段階で、リハビリテーション訓練をしてから帰国されていることなどからも、きわめて身近かなことであることがご理解いただけると思う。

我が岩手郡医師会は8町村の岩手山を囲む雄大かつ広範な地域と純朴な住民に恵まれているが、地域社会の高齢化現象は他の市町村に比してもその進行が著しい。地域社会でさきにのべた地域リハビリテーションを実施するためにはそれぞれの地域での医療・保健・福祉の連携が重要であるが、そのイニシアティブはやはり医療関係者がとるべきではなかろうか。保健・福祉活動の前進は医療を背景として密接な連携が要請されているが、それぞれの地域での救急医療から地域リハビリテーション活動まで包括的システムのモデル化が必要な時代になりつつあるのではなかろうか？

神戸の学会で親しい先輩に誘われて「コーヒー博物館」に一時エスケープした。コーヒーの歴史が分かりやすく説明され、バッハのコーヒー・カンタータまできめ細かい配慮には驚き、キリマンジャロの味を楽しみ、多忙な日常生活から自分を見直す一時を与えられこれもまた感謝であった。

随 想

今 更

雫石町 高 橋 孝

郡医報で、雫石町の公民館ホールを宣伝するつもりはありませんが、「田園ホール」「バッハホール」又、最近では盛岡大通商店街協同組合会館が「リリオ」等々の愛称で呼ばれる施設が多くみられるようになって来ました。ある時、「公民館と言う呼び名は何か古く聞こえるもなァ」との声を聞き、雫石町の中央公民館の大ホール（約800人収容）に何か愛称を付けたいと考えて、調べてみたら、公民館とは社会教育法に定められており、「市町村立の他一定の区域内の住民のために、实际生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教育の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活、文化の振興、社会福祉の増進に寄与するを目的する。」とある。又、当町の公民館ホールを機能的にみたら、ベーゼンドルファーのピアノ部門で色々と言響等について調べて歩くプロの方の話では設備、言響共、田園ホール（矢巾町）にも劣らないホールである事が解って来た。サテ、愛称だがいろいろと考えたすえに、横文字、又はハイカラ名前が多い中、雫石は民話が多く一部史実に基づくような民話もあり、その中から、雫石アネコの元祖とも言われるヒロイン「野菊」が登場する話の野菊物語より「野菊ホール」と命名してはと提案してみました。その後、愛称公募、選考を経て、4月4日に「野菊ホール」と命名され、式典やら唄、語、劇、等の催し物があり、めでたしめでたしではあったが、その中で、今更何も愛称等不要ではないかと、一部に声

があった由。しかし私はその「今更」が大切と思う。「今更」の意味を調べてみると①事新しく感じさせる様。②今となって、この期に及んで、③今始めて、等々の意味がある。そもそも村おこし、町おこしは全て「今更」であり、「わざとらしくったり」であろう。只、今迄は目を向けなかった事に一時でも注意して見ることだけは間違いなく、これの積み重ねが町や村が少しずつ新しくなったり、又新しい物を再発見したりすると思います。

先日、盛岡でハーモニカバンド・マハブリトリオ等アルペン世界選手権大会時の音楽会打ち合わせ会で音楽の関係者にお逢いして、命名の話をしたら「アー良かった。あのホールはスバラシイ、良い名をつけた。言響も良く交響楽でも何でも大きい音楽祭を開ける。今度はアルペン道路で、盛岡からも約20分位で行ける。良かった、良かった。」と言ってくれた。アーやっぱり宣伝になってしまった。

因みに万葉の歌に「今更に君が手枕まき寝めや我が紐の緒の解けつつもとな」と歌があり、今更あなたの手枕で寝る事もないのに私の紐の緒はいたずらに解けます。あなたは私を恋慕ってくれているのですか？美しい今更である。

新入退会者紹介

◎入会

細井 信夫 先生（西根病院）
 年 令 56才
 出身地 岩手県
 出身校 岩手医大
 診療科目 外科、麻酔科
 勤務時期 平成4年5月1日
 趣 味 テニス、スキー、釣り

◎退会

平成3年12月31日 佐藤 公也 先生
 （県立沼宮内病院より）
 平成4年3月31日 奈良坂 重樹 先生
 （県立沼宮内病院より）
 “ 鹿内 俊樹 先生
 （八角病院より）
 “ 姜 一 泳 先生
 （東八幡平病院より）

岩手県医師会役員会

- 1.日 時 平成4年4月25日（土）
 PM4:00より
 2.場 所 岩手県医師会館第2会議室
 3.議 題
 1 岩手県医師会各委員会・部会の計画について
 2 岩手県医師会年間行事について
 3 岩手県医師会通常総会開催について
 4 その他

岩手県医師会役員会

日 時：平成4年6月2日（火）PM6:00～
 場 所：県医師会館第3会議室
 出席者：高橋牧、上田、佐藤、高橋孝、西島、
 和田、八角、佐々木、高橋克、及川、
 嶋、岡本、篠原、上原、根本、坂井。

議 題

- 1.岩手県医師会通常総会（6月20日）開催
 についての打合わせ
 2.その他
 ・岩手県医師会総会、岩手医学会（7月12
 日）の参加について
 ・県医師会ゴルフ大会（9月13日）の参加
 について
 ・入会者について
 5月1日より西根病院へ細井信夫先生

編 集 後 記

○ 御多忙の中、学術講演をお話しいただき
 ました岩手医大石渡隆司先生は、最近哲学関
 連の著者（「歴史の終わり」「資本主義の終
 わり」「医療の終わり」など）を紹介しなが
 ら、現代という時代が大きな転換期を迎えて
 おり科学技術もそれに伴って大いに発展する
 ことが望まれる。それはまた、特に人間の深
 層の要求に応えるものでなければならない。
 と強調された。

○ 「おらほの先生」は西根町の森先生に登
 場していただきました。ランの栽培について
 はかなりの自信をお持ちであり、外来診察室
 がいろいろとどりの花の香りでいっぱいと思わ
 れます。貴重な美しい写真どうもありがとう

ございます。

○東八幡平病院の及川先生の学会の思い出の
 貴重な数日間の報告をいただきありがとうござ
 います。これからも多くの方々からいろい
 ろなかたちで寄稿していただければ幸いです。
 ○8月23日(日)には県医師会野球大会が二戸市
 で開催されます。昨年は岩手郡が担当しまし
 ましたが、好天に恵まれ素晴らしい大会であつた
 とおほめの言葉をあちこちでできました。今年
 の大会地二戸市では60才以上の会員有志を紅
 白にわけてシニアの部として、特別ルールで
 試合をするという。ハッスルしすぎてケガの
 ないように

(M.S 記)